

授業科目	生物学	担当教員	外部講師☆	単位数	1	時期	1年次 4月～7月
			①森岡 真也	時間数	30		
目的と目標	<p>生命とは何か、地球上の生命はいかにして誕生したのか、生命をつくる細胞の成り立ちと活動、生命が連続する仕組み、生命が環境の変化にあわせて生活する仕組みについて学習する。</p> <p>1 「生命とは何か」を理解する</p> <p>2 人間の体の成り立ち、仕組み、働きを探究する生命科学のさまざまな分野へと知識を発展させる</p>						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1 ～ 4	生命	(1)生命とは何か (2)生命の誕生 (3)生命の変遷		講義	外部講師 (森岡真也)		
5 ～ 8	組織と細胞	(1)生物は細胞からできている (2)細胞の一生と個体の成り立ち					
9 ～ 12	生命の連続	(1)生殖によって子孫をつくる (2)遺伝と遺伝子 (3)発生して体をつくる					
13 ～ 14	環境と動物の反応	(1)刺激の受容と反応 (2)内部環境を保つ仕組み (3)動物の行動と進化					
15	まとめ（1時間） 試験（1時間）	(1)生物学のまとめ (2)筆記試験					
評価方法	筆記試験						
教科書・参考文献	歯科衛生学シリーズ 生物学（医歯薬出版）						
事前準備や 受講要件等							
☆担当教員 の実務経験	①獣医師として医療機関に勤務した経験を活かした授業展開をする						

授業科目	化 学	担当教員	外部講師	単位数	1	時 期	1 年次 4 月～7 月
			葎谷 耕三	時間数	30		
目的と目標	<p>化学は、物質の性質、構造、変化に関する学問であるが、歯科衛生士は、まさに医療の現場で種々雑多な歯科材料などの物質を扱う立場にある。</p> <p>基本的な物質の本性を学び、「気体」、「水溶液」、「化学反応」の知識を医療や日常生活への応用に発展させ、さらに人体をはじめとした生体を形成している化学物質に関してより理解を深める。</p> <p>1 化学の基礎知識と考え方について理解する</p> <p>2 化学物質の構造、性質を理解する</p>						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	物質とは何だろう	(1)物質の分類、構造		講義	外部講師 (葎谷耕三)		
2		(2)原子の電子配置					
3	気体について知ろう	(3)元素の周期律					
4		(4)物質質量					
5		(5)化学結合					
6	物質が水に溶けるとは	(1)気体のルール					
7		(2)空気は何から					
8		(3)気体を使う (医療、生活への応用)					
9		(4)水溶液の濃さの表し方					
10	酸化とは、還元とは	(2)希薄水溶液の示す不思議な性質					
11		(3)身のまわりにはコロイドがいっぱい					
12	有機化合物とは何だろう	(4)酸とアルカリの水溶液					
13		(1)酸化と還元					
14		(2)金属のイオン化傾向					
15	まとめ (1時間) 試験 (1時間)	(1)化学反応では原子の組換えが起こっている					
16		(2)化学平衡って何だろう					
17	有機化合物とは何だろう	(1)有機化合物の成り立ち					
18		(2)有機化合物に名前をつける					
19		(3)同じ原子から違った構造が					
20		(4)有機化合物の反応					
21		(5)代表的な化合物と性質					
22		(6)高分子化合物					
23	まとめ (1時間) 試験 (1時間)	(1)化学のまとめ					
24		(2)筆記試験					
試験							
評価方法	筆記試験						
教科書・参考文献	歯科衛生学シリーズ 化学 (医歯薬出版)						
事前準備や 受講要件等							
☆担当教員 の実務経験							

授業科目	心 理 学	担当教員	外部講師	単位数	1	時 期	1 年次 4 月～7 月
			合掌 顕	時間数	30		
目 的 と 目 標	人間の行動のメカニズム、心の動き、欲求について理解し、心理的な存在としての人間を理解する。 1 心理学の基礎知識について理解する 2 心と体のプロセスや背景について理解する						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	見る・聞く・感じるころ	(1)知覚成立の基礎		講義	外部講師 (合掌 顕)		
2		(2)知覚の体制化、諸相					
3	学ぶ・覚えるころ	(1)学習のプロセス					
		(2)記憶のメカニズム、病理とゆがみ					
4	やる気の心理	(1)動機づけと、その分類					
		(2)欲求					
5	喜怒哀楽のころ	(1)感情					
		(2)フラストレーション、ストレス					
6	その人らしさの心理	(1)パーソナリティの記述、調べ方					
		(2)パーソナリティの異常と障害					
7	かしこさの心理	(1)思考					
		(2)問題解決、創造性					
8	発達するころ (1)	(1)「発達」を考える					
		(2)発達段階と発達課題					
		(3)乳幼児期・児童期のころの発達					
9	発達するころ (2)	(1)青年期、成人期、高齢期					
10	人と関わる心理	(1)対人認知					
		(2)帰属理論					
11	人と集うころ	(1)集団の心理、リーダーシップ					
		(2)社会影響					
12	健康なころ	(1)メンタルヘルス					
		(2)心理臨床の対象、心理療法					
13	カウンセリングのころ	(1)カウンセリングとは					
		(2)カウンセリング・マインド					
		(3)介入法					
14	思いを伝え合うころ	(1)医療コミュニケーションの基礎					
		(2)コミュニケーション・スキル					
15	まとめ (1時間)	(1)心理学のまとめ					
	試験 (1時間)	(2)筆記試験		試験			
評価方法		筆記試験					
教科書・参考文献		歯科衛生学シリーズ 心理学 (医歯薬出版)					
事前準備や受講要件等							
☆担当教員の実務経験							

授業科目	社会学	担当教員	外部講師 神戸 博一	単位数	1	時期	1年次 1月～3月
				時間数	30		
目的と目標	<p>人は社会とのかかわりなしには生きてはいけない。その社会を多角的に観る力を身に着けた。社会人、職業人にとって基礎的な教養である。</p> <p>特に、医療者は、人々の健康の保持、増進、回復と関わっている。それらと社会とが密接な関わりと大きな影響力を持っていることを理解し、洞察する力を持ち、医療行為において実践する力を身に着けてもらいたい。</p>						
回数	学習課題	内 容		方法	担当教員		
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15	<p>試験について、医療者にとっての社会学</p> <p>近代社会と社会学の成立</p> <p>社会学の体系について</p> <p>家族と保健医療社会学 (第11章) (1)</p> <p>家族と保健医療社会学 (第11章) (2)</p> <p>性・ジェンダー</p> <p>家族と保健医療</p> <p>健康と病気の社会格差 (第6章) (1)</p> <p>健康と病気の社会格差 (第6章) (2)</p> <p>まとめ (1時間) 試験 (1時間)</p>	<p>(1)テキストのはしがき</p> <p>(2)社会とは</p> <p>(3)序章</p> <p>(1)近代社会の成立と社会学</p> <p>(2)産業革命、政治革命</p> <p>(3)コントの社会学</p> <p>(1)B社会学の分類</p> <p>(2)C医療社会学の誕生と発展</p> <p>(3)性ジェンダー家族</p> <p>(1)結婚と家族の基礎概念</p> <p>(1)結婚の変化、家族の変化</p> <p>(1)ジェンダーの健康差、メカニズム</p> <p>(1)B社会格差の諸相</p> <p>(1)Dヘルスリテラシー</p> <p>(2)社会学の基礎概念</p> <p>(1)社会学のまとめ</p> <p>(2)筆記試験</p>		<p>講義</p> <p>試験</p>	<p>外部講師 (神戸 博一)</p>		
評価方法		筆記試験					
教科書・参考文献		系統看護学講座 基礎分野 社会学 (医学書院)					
前準備や受講要件等		テキストの該当の箇所を前もって読んでおく					
☆担当教員 の実務経験							

授業科目	英語	担当教員	外部講師	単位数	1	時期	1年次 1月～3月
			KANKANIGE ERANGA HASANTHI	時間数			
目標と	リスニング能力と会話能力を高める。 1 英語を話す外国人が日本を訪れた時に聞きとることができる 2 日常生活に使う英会話ができる						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	リスニング、会話	(1)空港で出迎える時のあいさつ		講義 及び 演習	外部講師 (KANKANIGE ERANGA HASANTHI)		
2		(2)自己紹介、他人の紹介 (3)過去形と現在完了形の違い (4)Many , Much の使い方					
3	リスニング、会話	(1)面接での表現					
4		(2)What , Where , Why , When の使い方 (3)ホテルに宿泊したときの表現 (4)疑問文 Do Did Is Are Was Were					
5	リスニング、会話	(1)目的地に行く道を尋ねる表現					
6		(2)疑問文 Do you know ? Can you tell me ? (3)観光する時に使用する表現 (4)仮定法 If～will を使う表現					
7	リスニング、会話	(1)買い物で使う表現					
8		(2)仮定法 If～would を使う表現 (3)電話での応答で使う表現 (4)報告（時制の一致を主に）					
9	リスニング、会話	(1)レストランや趣味についての会話					
10		(2)報告（時制の一致を主に） (3) レストランや趣味についての会話 (4) 報告（時制の一致を主に）					
11	リスニング、会話	(1)電車に乗る時の表現					
12		(2) 報告（時制の一致を主に） (3)ツアーに参加する時の表現 (4)不可疑問文 Isn't it を使って					
13	リスニング、会話	(1)お土産を買う時の表現					
14		(2)不可疑問文 Wasn't it? を使って (3)和食についての会話 (4)助動詞 Should Could Might Must					
15	まとめ（1時間） 試験（1時間）	(1)英語のまとめ (2)筆記試験			試験		
評価方法		筆記試験					
教科書・参考文献		SIDE by SIDE Book2（ロングマン） ※必要なら英和辞典（電子辞書でも可）					
☆担当教員の実務経験							

授業科目	コミュニケーション論	担当教員	外部講師	単位数	1	時期	1年次 4月～6月
			早川佳穂	時間数	15		
目的と目標	<p>お互いの気持ちを表現し理解するコミュニケーションスキルは人間関係の基礎となることから、コミュニケーションの意味を深く理解する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>より良い人間関係を構築するためのコミュニケーション力を身につける</li> <li>言葉による意思伝達に必要な基礎知識を身につける</li> <li>臨床コミュニケーションに必要な理論と技術についてふれる</li> <li>コミュニケーションには、他への共感・共鳴が基本にあることを認識する</li> </ol>						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1 2 3 ～ 5 6 7 8	<p>コミュニケーションとは</p> <p>聞く力 ※「聞く」「話す」「書く」「読む」 の四つの言語行為を関連づけ、相互活動の中でそれぞれの力をたかめていく。</p> <p>話す力</p> <p>書く力</p> <p>読む力</p> <p>試験（1時間）</p>	<p>(1)コミュニケーションの基礎概念</p> <p>(2)コミュニケーション能力の高い人とは</p> <p>(3)言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション</p> <p>(1)人の話を聞き取るための方法と態度を学び、コミュニケーション能力の基礎を身につける。 ※場面に応じたメモの取り方を学び、習慣づけをはかる。</p> <p>(2)自己アピール等の演習を通して、聞き手にわかりやすく話す技術の向上をはかる。</p> <p>(3)敬語と敬意表現の基礎と応用（日常どんな場面でも使いこなせるように）</p> <p>(1)読み手を意識し、正確でわかりやすい文章を書く。（特に実験・実習に必要な記録文、報告文の書き方）</p> <p>(2)語彙力をつけるための演習プリントを課題とする</p> <p>(3)読書指導（親書本に挑戦しよう）</p> <p>(1)筆記試験</p>		<p>講義 及び 演習</p> <p>試験</p> <p>試験</p>	外部講師 (早川佳穂)		
評価方法	筆記試験						
教科書・参考文献	講師の提示する資料						
事前準備や 受講要件等							
☆担当教員の 実務経験							

授業科目	芸術	担当教員	外部講師 中島 法晃	単位数	1	時期	1年次 10月～11月
				時間数	15		
目的と目標	作品制作を通じて対象を多面的に観察し、表現する力を養う 1 対象を詳細に観察する観察力を養う 2 観察した結果を作品に反映させる再現力を養う 3 骨格を意識して立体物を製作することで三次元的な感覚を養う 4 限られた時間の中で作品を仕上げるための集中力を養う						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	模写・デッサン	(1)自己紹介（講師、学生） (2)二次元のデッサンとしてキャラクターの模写を行う		講義 実習	外部講師 (中島法晃)		
2	人物のデッサン	(1)人物の頭部を正面、側面、斜め、背面等からデッサン					
3 ～ 7	制作	(1)粘土制作					
8	作品評価（1時間）	(1)評価		評価			
評価方法	・デッサン、粘土作品の評価 ※講師の指導に添った作品になっていること ・授業への参加態度						
教科書・参考文献							
事前準備や 受講要件等	別途指示						
☆担当職員の 実務経験							

授業科目	倫理学	担当教員	外部講師 岩井謙太郎	単位数	1	時期	1年次 9月～10月
				時間数	15		
目的と目標	倫理学とは、「人間の生き方・あり方」を問う学問であるともいえる。西洋の近代思想から現代倫理学および諸問題を通して、生命の尊さや人権意識を高め、人間尊重の態度を培う。 1 倫理学の基礎を理解する 2 現代社会における倫理学の課題について考究する 3 専門職業人としての倫理観を培う						
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員	
1	倫理学とは	(1)倫理学とは			講義	外部講師 (岩井謙太郎)	
2	思想と宗教	(2)倫理と道徳					
3	西洋の近代思想	(1)仏教と倫理					
4	日本の思想	(2)キリスト教と倫理					
5	現代の倫理的課題	(3)イスラム教と倫理					
6		(1)人間の尊厳					
7	職業倫理	(2)各思想家の倫理					
8	試験（1時間）	(1)古代日本人の心			試験		
		(2)儒教とさまざまな思想					
		(3)日本の近代化と新しい思想					
		(1)生命倫理とは					
		(2)地球環境問題					
		(3)情報社会とその課題					
		(4)国際化と異文化理解					
		(5)世界の平和と人類の福祉					
		(1)職業倫理とは					
		(2)企業と倫理					
		(3)公務員と倫理					
		(1)筆記試験					
評価方法	筆記試験						
教科書・参考文献	講師の提示する資料						
事前準備や 受講要件等							
☆担当職員の 実務経験							

授業科目	保健体育	担当教員	外部講師	単位数	1	時期	1年次 9月～12月
			梶田 徳子	時間数	30		
目的と目標	身近な競技を通してスポーツを楽しみ、心身のリフレッシュ、健康の保持増進を図る。 1 正しいルールのもとで、楽しく身体を動かすことができる 2 健康の維持増進ができる 3 集団での協調性を身につけることができる						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	集団スポーツ (バレーボール)	(1)基礎知識		実技	外部講師 (梶田徳子)		
2		(2)ルールの説明					
3		(3)ゲーム					
4	集団スポーツ (バトミントン)	(1)基礎技術					
5		(2)ルールの説明					
6		(3)ゲーム					
7	集団スポーツ (インディアカ)	(1)基礎技術					
8		(2)ルールの説明					
9		(3)ゲーム					
10	集団スポーツ	(1)軽スポーツ					
<p>※回数の表示について 本来、90分を1回として表示するが、体育は、1回の授業が3時間分となるため、3時間(45分×3)を1回として表示してあります</p> <p>※体育館の使用可能状況により、回数等、変更の可能性もあります</p>							
評価方法	実技評価、出席状況						
教科書・参考文献							
事前準備や 受講要件等							
☆担当職員の 実務経験							

授業科目	情報リテラシー	担当教員	外部講師 深井英和	単位数	1	時期	1年次 月～月
				時間数	15		
目的と目標	<p>統計学の学習を通じ、統計的なものの見方・考え方を理解する。また、コンピューターにおける情報処理能力を養うと共に、情報社会における基礎知識を身につける。</p> <p>1 確率論と統計論の基礎を身につける</p> <p>2 計算機の動作の仕組み、および情報機器を安全に使用する基礎知識を身につける</p> <p>3 ワードプロソフトによる文書処理を行う能力を身につける</p> <p>4 表計算ソフトによる表計算・グラフ作成を行う能力を身につける</p>						
回数	学習課題	内 容		方 法	担当教員		
1	序論	(1)確率の基礎		講義	外部講師 (深井英和)		
2		(2)統計の基礎					
3	記述統計	(1)多変量データ					
4	統計的推測	(1)統計的推測の基礎					
5	計算機の仕組みの理解	(1)二進数と十六進数 (2)論理演算 (3)情報セキュリティの基礎知識					
6	ワードプロソフトと表計算ソフトの使い方	(1)Microsoft Word の使い方		演習 演習			
7		(2)Microsoft Excel の使い方					
8	試験 (1時間)	(1)筆記試験		試験			
評価方法	演習課題および筆記試験により総合的に評価する 100点						
教科書・参考文献							
事前準備や 受講要件等							
☆担当職員の 実務経験							